



2026 年 7 月 16 日

いま行きたい道の駅は「立ち寄り」から「滞在型」へ

『じゃらん』全国道の駅グランプリ 2026 発表

群馬県「道の駅 川場田園プラザ」が2年連続の1位に！

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：牛田 圭一、以下リクルート）が運営する旅行情報サイト『じゃらんニュース』は「道の駅」に関するアンケート調査を実施しました。高い支持を誇る群馬県「道の駅 川場田園プラザ」が2年連続の1位を獲得したほか、2025年は5位だった宮城県「あ・ら・伊達な道の駅」が順位を上げ、2位にランクインしました。本レターでは、ランキング結果とともに、上位5位にランクインした道の駅の概要を紹介。昨年に引き続き「もう一度利用したい」「今後利用してみたい」ランキングも発表します。なお、本内容は『じゃらんニュース』でも紹介しています。

■「道の駅 川場田園プラザ」が2年連続で首位を獲得！

『じゃらん』全国道の駅グランプリ 2026

<利用者における満足度のランキング> (n=4,239)

利用経験：過去3年間の利用経験（複数回答） 満足：「満足した、良かった」施設（3施設まで）

順位	2025年 順位	2024年 順位	駅名	所在県名	利用経験者数 (人)	満足者数 (人)	満足率 (%)
1	1	2	道の駅 川場田園プラザ	群馬県	160	135	84.4%
2	5	1	あ・ら・伊達な道の駅	宮城県	277	229	82.7%
3	4	5	道の駅 遠野 風の丘	岩手県	100	79	79.0%
4	—	7	道の駅 しちのへ	青森県	119	94	79.0%
5	3	—	道の駅 許田	沖縄県	107	82	76.6%
6	6	—	道の駅 富士川楽座	静岡県	204	151	74.0%
7	—	—	道の駅 八幡浜みなと	愛媛県	178	130	73.0%
8	9	—	道の駅 センザキッチン	山口県	155	113	72.9%
9	—	—	道の駅 くるくる なんと	徳島県	320	230	71.9%
10	—	3	道の駅 米沢	山形県	205	147	71.7%

2026年3月13日時点で登録されている全国の全ての道の駅（1,231/未開業含む）の中から、「満足度の高い道の駅」を選出するアンケート調査を実施しました。1位に選ばれたのは、群馬県の「道の駅 川場田園プラザ」です。昨年に続いてトップの座をキープ。自然豊かなロケーションの中で、地元食材を使ったグルメや体験コンテンツを満喫できる「滞在型の道の駅」として高い評価を得ました。続く2位は、宮城県の「あ・ら・伊達な道の駅」で昨年5位からジャンプアップ。3位は、岩手県の「道の駅 遠野風の丘」で、昨年からの順位をひとつ上げる結果となりました。近年の道の駅は、地元の見どころを発信する観光拠点としてだけでなく、温泉や宿泊施設などの体験型コンテンツを備え、滞在自体を楽しめるスポットへと進化しています。その土地ならではの食や文化、風景に出会える「旅の目的地」として訪れてみるのはいかがでしょうか。「もう一度利用したい道の駅ランキング」と「今後利用してみたい道の駅ランキング」（P4、P5）の結果もあわせてぜひチェックしてみてください。

本件に関する
お問い合わせ先<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

■「あ・ら・伊達な道の駅」が5位から2位へランクアップ、「道の駅 しちのへ」がトップ5入り！

1位：道の駅 川場田園プラザ【群馬県利根郡川場村】

2025年に続き満足度1位を獲得した「道の駅 川場田園プラザ」。武尊山の麓に広がる広大な敷地に四季折々の自然風景が広がり、食・買い物・体験を一度に楽しめる「滞在型の道の駅」として高い支持を集めています。施設内には、ブランド米「雪ほたか」をはじめ、地元産の新鮮な野菜や果物が並ぶファーマーズマーケットを設置。ミルク工房や地ビールレストランなども併設され、川場村の味覚を堪能できます。敷地内にはアスレチック施設「HANETTA（ハネッタ）」や芝生広場などもあり、幅広い世代がゆったり過ごせるのも特長。道の駅の枠を超え、ひとつの観光スポットとして楽しめると、多くの人を惹きつけています。



2位：あ・ら・伊達な道の駅【宮城県大崎市】

宮城県大崎市にある「あ・ら・伊達な道の駅」は、年間300万人以上が訪れる東北有数の大型道の駅。館内には、県内・市内の名産品のほか、旬の商品や話題の商品がずらりと並びます。近年注目を集めるイノシシの加工肉ブランド「OSAKI GIBIER（大崎ジビエ）」も販売されており、地域ならではの食文化に出会える点も特長です。年間を通じて多彩なイベントを開催し、SNSや公式LINEを活用した情報発信にも注力。こうした取り組みがリピーターの支持につながり、今回の順位上昇を後押ししたようです。



3位：道の駅 遠野風の丘【岩手県遠野市】

岩手県遠野市にある「道の駅 遠野風の丘」は、民話の里として知られる遠野の玄関口に位置しています。風車が並ぶのどかな風景が印象的で、遠野らしい自然と文化を感じられるスポットです。館内には、地元銘菓や民芸品、地酒・地ビールをはじめ、旬の野菜や果物などが豊富に並び、遠野ならではの土産探しを楽しめます。食事処で、遠野名物「バケツジンギスカン」を味わえるのも魅力のひとつ。空気穴を開けたブリキのバケツにジンギスカン鍋を乗せたユニークなスタイルで、香ばしく焼き上げる羊肉は格別です。



4 位：道の駅 しちのへ【青森県七戸町】

東北新幹線・七戸十和田駅から徒歩圏内というアクセスの良さが特長。車はもちろん、電車でも立ち寄りやすく、青森観光の玄関口として親しまれています。物産館には、青森県内の特産品や銘菓がずらり。産直施設「七彩館」には、約 200 戸の農家から届く新鮮な野菜や果物が並び、旬の味覚に出会えます。長いもやにんにく、黒にんにくの産地として知られる地域ならではの加工品も充実。レストラン「絵馬」で味わえる名物「馬肉ラーメン」も注目の一品。青森県産の野菜と馬肉を合わせ、旨辛い味噌味で仕上げた「ご当地ラーメン」を目当てに訪れる人も多いようです。



5 位：道の駅 許田【沖縄県名護市】

1994 年にオープンした沖縄県第 1 号の道の駅。沖縄自動車道・許田 IC に隣接し、沖縄本島北部・やんばるエリア観光の玄関口といえるスポットです。施設内には、沖縄本島北部 12 市町村の特産品がそろうコーナーがあり、沖縄ならではの菓子や加工品、調味料、工芸品に加え、旬のフルーツも豊富にそろい、お土産探しにもぴったり。グルメも充実し、「沖縄天ぷら」をはじめとしたローカルフードや軽食が味わえるのも見どころ。2 階の展望スペースからは名護湾を一望。青い海と空が広がる開放的な景色はもちろん、夕暮れ時には美しいサンセットも見られます。



■「もう一度利用したいランキング」では、グルメの充実がリピート意欲につながっている傾向

今年も「道の駅 川場田園プラザ」が1位を獲得。ほかにも、「食」が特徴的な施設が上位に並びました。リピート意向が強い施設は、地元ならではのグルメや季節に応じた産直商品の入れ替えなど、訪れるたびに新しい発見があり、何度でも足を運びたくなることから支持を集めているようです。

『じゃらん』もう一度利用したい道の駅ランキング 2026

過去3年間に利用した道の駅の中から「もう一度利用したい」施設を選択（3つまで）（n=4,239）

順位	2025年 順位	駅名	所在県名	リピート率 (%)
1	1	道の駅 川場田園プラザ	群馬県	75.0%
2	3	道の駅 許田	沖縄県	71.0%
3	5	道の駅 遠野風の丘	岩手県	71.0%
4	4	あ・ら・伊達な道の駅	宮城県	66.4%
5	10	道の駅 しちのへ	青森県	63.0%
6	—	道の駅 八幡浜みなと	愛媛県	62.4%
7	2	道の駅 むなかた	福岡県	60.8%
8	—	道の駅 米沢	山形県	60.0%
9	—	道の駅 くるくる なんと	徳島県	59.4%
10	7	道の駅 センザキッチン	山口県	59.4%

■「今後利用してみたいランキング」では、豊かな食文化や自然、話題性のある施設に期待感

雄大な自然やご当地ならではの食文化など、その土地でしか味わえない体験への期待感が、利用意向につながっていることがうかがえます。先述の2つのランキングに名を連ねる施設もランクインしており、「次は行ってみたい」と思わせる話題性が、まだ訪れたことのない人からも関心を集めているようです。

『じゃらん』今後利用してみたい道の駅ランキング 2026

これまで利用したことのない道の駅の中から「今後利用してみたい」施設を選択（3つまで）（n=4,239）

順位	2025年 順位	駅名	所在県名
1	2	道の駅 阿蘇	熊本県
2	3	道の駅 あわじ	兵庫県
3	5	道の駅 サーモンパーク千歳	北海道
4	6	道の駅 うずしお	兵庫県
5	4	道の駅 神戸フルーツ・フラワーパーク大沢	兵庫県
6	7	道の駅 富士	静岡県
7	8	道の駅 蒜山高原	岡山県
8	—	道の駅 瀬戸大橋記念公園	香川県
9	10	道の駅 天童温泉	山形県
10	—	あ・ら・伊達な道の駅	宮城県

【アンケート調査概要】インターネット調査／スクリーニング調査で全国 8 エリアそれぞれ満足度トップ 10 にランクインした施設のうち、「あてはまるものはない」の選択肢を除外した計 79 施設を選択肢として設定。過去 3 年以内（2023 年 4 月～2026 年 3 月）に行ったことがある施設の中から「満足した、良かった」施設を 3 つまで選択。利用経験者数が 80 人以上の施設を対象に集計。小数点第 2 位までの集計結果をもとに順位に反映。

調査期間：2026 年 3 月 5 日（木）～2026 年 3 月 13 日（金）／調査対象：47 都道府県在住 20 代～50 代男女／有効回答数：4,239 人／駅名は全国道の駅連絡会 HP の記載に準じる

※紹介している内容は 2026 年 6 月 19 日時点の情報です

※本ランキングをご紹介いただく際は、必ず下記クレジットを記載してください

「じゃらん 全国道の駅グランプリ 2026」

「じゃらん もう一度利用したい道の駅ランキング 2026」

「じゃらん 今後利用してみたい道の駅ランキング 2026」

※おでかけの際には、ホームページなどで最新の情報をご確認ください

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、人材派遣、マーケティング・マッチング・テクノロジーの3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここいない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>